□寺町都市美形成地域の都市美誘導基準チェックリスト（住宅等）

**道路Ｃの沿道**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 指　導　項　目 | | | | 都　市　美　誘　導　基　準 | 具　体　的　な　内　容 |
| 基　本　方　針 | | | | 寺町らしい町並みの雰囲気をつくり、守り、育てるように努力、工夫する。 |  |
| 建  　　築  物 | 規　　　模 | | | ３階以上の部分は、できるだけ通りから見えないように、奥へ下げる工夫をする。 |  |
| 位　　　置 | | | できるだけ軒を深くし、軒先と壁の線を近隣とそろえるように努める。 |  |
| 意  匠 | 全　体 | | 道路から見える屋根、外壁、軒裏、出入り口、窓、設備等の形態、材料、色彩等は、寺町らしい伝統を感じさせるようにする。 |  |
| 屋  根 | 形態 | 和風のこう配屋根とする。困難な場合は、付けひさし形式等寺町と調和するものとする。 |  |
| 材料 | 和瓦風、銅板風等寺町と調和するものとする。 |  |
| 外　壁 | | しっくい壁風、土壁風、縦羽目板張り風、下見板張り風等、その他寺町と調和するものとする。 |  |
| 軒　裏 | | しっくい塗り風その他寺町と調和するものとする。 |  |
| 窓 | | 格子付等の和風のもの、その他寺町と調和するものとする。 |  |
| 出入口 | | 格子戸、板戸等の和風のもの、その他寺町と調和するものとする。 |  |
| 道路に面した部分 | | 軒又はひさしを設けるよう努め、その形態・材料は、屋根と同様とし、そのこう配や先端の高さをそろえる。 |  |
| 道路に面した軒下部分 | | 玉石、砂利洗い出し、和風陶板、石畳等寺町らしい和風の舗装に努める。 |  |
| アスファルト、コンクリートや洋風タイルばり等は避けるよう努める。 |  |
| 店舗の店先 | | 材質、デザイン、色調を工夫し、和風の雰囲気のあるものとする。 |  |
| 木竹の態様又は塀等（道路に面した部分） | | | | 伝統的景観にふさわしい植栽等で、寺町と調和するよう工夫する。出入り口や店舗前面等、やむを得ないところは、この限りではない。 |  |
| 塀は、寺町と調和するよう工夫する。 |  |
| 看板、案内板等 | | | | 大きさ、デザイン、色調、材質を工夫する。 |  |
| 敷地内に設け、寺町と調和するよう工夫する。 |  |
| 工作物・建築設備等 | | | | その他の工作物（アンテナ、物干し等）や建築設備（空調屋外機、消防設備、防火水槽、受水槽等）等は、道路から見えにくくする。見える場合は、その意匠、形態、材料、色彩等を寺町らしく工夫する。 |  |